

授業科目 形態別介護技術Ⅰ

【担当教員名】 大槻美智子・宮下榮子	対象学年 1	対象学科 社会
	開講時期 前期・後期	必修・選択 介護福祉コース必修選択
	単位数 4	時間数 60

<一般目標：G I O>

障害者の生活支援ニーズを把握し、自立支援のあり方における介護の基本を学習するとともに、個別援助に主眼を置いた介護技術が身に付く。それらを演習を中心とした学習の中で、実践力を養う。

<行動目標：S B O>

- 1、障害者の特性に応じた介護に関する知識を習得する。
- 2、障害者の置かれた条件に対応した介護の知識・技術を習得する。
- 3、障害の特性に応じた、適切な具体的介護技術を習得する。
- 4、各種福祉用具について理解し、その使用方法及び使用介助方法について習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1・2	障害者の生活環境及び状況について学び、介護上の諸問題について検討する。		演習
3・4	障害からくる生活行為の不自由さとその解決について学ぶ。		演習
5	肢体不自由と関連医学領域の基礎知識について学ぶ。		演習
6	肢体不自由に起因する介護上の課題について学ぶ。		演習
7	肢体不自由におけるもてる力の活用について学ぶ。		演習
8	肢体不自由における、福祉用具の選定とアセスメントについて学ぶ。		演習
9	肢体不自由を伴う重複障害について学ぶ。		演習
10	内部障害と関連医学領域の基礎知識		演習
11	内部障害に起因する介護上の課題について学ぶ。		演習
12	内部障害におけるもてる力の活用について学ぶ。		演習
13	内部障害における、福祉用具の選定とアセスメントについて学ぶ。		演習
14	内部障害を伴う重複障害と保健医療福祉関係者との連携について学ぶ。		演習
15	精神障害に起因する介護上の諸問題について学ぶ。		演習
16	精神障害者の日常生活支援について学ぶ。		演習
17・18	精神障害者の保健医療福祉関係者との連携について学ぶ。		演習
19・20	知的障害と関連医療領域の基礎知識について学ぶ。		演習
21・22	知的障害に起因する介護上の課題及び家族への援助について学ぶ。		演習
23・24	知的障害者の日常生活支援とコミュニケーションについて学ぶ。		演習
25・26	障害者の在宅生活を支援する介護技術について学ぶ。		演習
27・28	障害者の地域での生活を支援する介護技術について学ぶ。		演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中央法規出版 介護福祉士養成講座「形態別介護技術」			
参考書	必要時推薦します。			
その他の資料	随時配布いたします。			

【評価方法】 出席および授業態度 試験	【履修上の留意点】 体を動かす実技実習が多いので、動きやすい服装で出席してください。
---------------------------	---